



- 三大建設プロジェクトほかの完成、「新生(リニューアル)熱海」が次の段階に入る年。
- 公共施設マネジメント等の方針を踏まえ、中長期的な視点を持って必要な構想を練る。
- 消費税率改定、県の第4次地震被害想定などに対応。
- 「営業する市役所」として、シティプロモーション、民間投資の促進、人口増加策を引き続き推進。

一般会計当初予算 183.8億円(対前年度12.3億円減、6.3%減)  
 歳出:普通建設事業費 24.3億円(同38.4%減)、公債費 19.5億円(同11.6%減)  
 歳入:市税97.9億円(同1.2%増)、市債12.5億円(同59.4%減)、諸収入6.9億円、基金8.2億円  
 基金残高 :H18末12.6億円 H24末28.5億円 H25末(補正後)38.0億円 H26末見込 34.0億円  
 うち財政基金:H18末 4.7億円 H24末12.4億円 H25末(補正後)16.5億円 H26末見込 14.6億円

## 三大建設プロジェクトほかの完成

- 市庁舎** \*4月10日完成式典、5月7日本格供用開始
  - 庁舎解体、跡地整備、移転等 計333,743千円
  - 「お客様サポーター」を配置し、申請を支援
- 熱海駅前広場整備** \*26年秋までに概ね整備
  - 整備事業経費 112,700千円(スロープ、タクシー降車場等含む)
  - 自家用車一時駐車場管理業務委託 7,146千円 \*30分を過ぎると有料
- 新生熱海中学校**
  - 小中学校児童生徒通学費補助 10,988千円 \*6ヶ月分支給へ拡充
  - 旧小嵐中学校校舎解体工事費 211,281千円
- 中央保育園**\*80名、3歳未満の受け入れ数拡大、延長・休日保育等
  - 子育て支援センター(中央に専用室) 計15,340千円(市内2箇所)
- ジャカラダ遊歩道** \*5月末完成、6月6日式典
  - ポルトガルのカスカイス市訪問団来熱経費 1,300千円

## 構想を練る

- 公共施設マネジメント**
  - 東洋大学大学院公民連携専攻派遣経費 1,327千円
- 建設、再配置等**
  - 旧岡本ホテル跡地 =市民の集う場所へ
    - 土地取得 391,723千円(基金)、駐車場舗装等工事費等11,332千円
    - 資産経営・公民連携推進経費 9,000千円
  - さくらの名所散策路 \*最終調整が整い次第、早期着工を目指す
  - 市営住宅 計115,452千円 \*90%が昭和56年以前に建築
- 修繕等**
  - エコプラント姫の沢 \*平成11年 総事業費69億6,200万円  
焼却施設オーバーホール198,190千円、延命化計画等策定5,100千円  
賠償金の大半を環境衛生基金に積立 483,304千円(H25補正)
  - 姫の沢自然の家耐震診断及び補強計画業務委託 8,640千円
  - 道路ストック総点検34,000千円 \*舗装、法面、道路付属物等の点検

## 消費税率改定/防災・減災

- 消費税** \*4月から8%に、公共料金等も改定(上下水道は7月~)
  - 低所得者等への配慮 臨時給付金221,000千円(H25補正)  
国保:税率4%改定、軽減措置の拡大、一般会計繰り出し5.7億円
  - 経済振興:住宅リフォーム補助金8,000千円、統一プロモーション「意外と熱海」と連動したwebバナー広告3,500千円
  - 市民負担の軽減:町内LED防犯灯(電気料、改修補助)34,042千円、商店街街路灯LED化補助10,000千円\*5件(1/2補助、上限2百万円)
- 防災** \*住民税均等割に関する国の復興増税(県市500円ずつ)
  - 県第四次被害想定への対応=アクションプログラム
    - 同報無線子局改修工事費(6基)28,700千円 \*浸水区域を前倒し
    - 大規模地震対策等経費(備蓄食料1.4万食等) 8,615千円
  - 耐震改修促進法改正への対応(補助) \*市負担額は1/5
    - 義務:診断、計画策定 計77,000千円 \*未診断8件中5件分
    - その他:診断、計画策定 計27,000千円 \*診断5件分、計画3件分
  - 伊豆山出張所の解体 3,000千円 \*跡地の防災的活用の検討

## 元気な経済

シティプロモーション、観光まちづくりの基盤整備を進めつつ、効果を高めるために事業、施設等を見直し。

- 観光・経済** \*既存事業を見直しながら新規事業を実施
  - 外国人観光客受入環境整備業務委託(wi-fi等) 3,000千円
  - 各地区観光協会への宣伝行事費及び運営補助金 計53,663千円  
\*対前年2%減
  - アート&ミュージックフェスティバル 2,000千円 \*秋に開催予定
  - 空き店舗活用に係る基礎調査 1,000千円
- 地域活性化に向けた基盤の整備**
  - 伊豆山地区振興策工事 3,500千円 \*市道神社参道線の階段の改良等
  - 農業振興地域基礎調査業務委託 3,300千円 \*農振地域の見直し
  - 初島宮の前防波護岸・埋立工事 229,000千円 \*埋立完了を予定
  - 県営網代漁港漁場整備(負担金) 6,000千円
  - 公園等サイン整備事業費 2,527千円 \*お宮緑地等の看板整備
- その他**
  - ロケ支援活動(ADさんいらっしやい) 120千円 \*携帯電話利用料
  - 熱海市チャレンジ応援センター A-biz 計1,350千円
  - 橋梁 補修工事(5橋)20,000千円 耐震化計画等策定委託 13,000千円

## 豊かな暮らし

市民の健康増進施策を充実。高齢者福祉、子育て支援の充実。

- 健康づくり**
  - 一般不妊治療費助成 540千円 \*合計特殊出生率1.17人
  - 成人用肺炎球菌ワクチン(H26年度中に定期予防接種化の見込)
  - 熱海市体育協会運営費補助 2,380千円\*事務体制の強化
- 高齢者福祉** \*高齢者のみ世帯9,303世帯(全体の43.6%)
  - 介護予防や孤立化防止 \*市の保健師が高齢者宅を訪問
  - 在宅生活安心システム推進事業5,211千円 \*55人分を増加
- 子育て支援・教育**
  - 放課後児童健全育成事業 21,230千円 \*待機児童の解消
  - 市営駐車場子育て支援フリーパス278千円 \*公園を使いやすく
  - 臨時保育士雇用経費46,063千円 \*配置を拡充(通年で待機予防等)
  - ことばの教室 5,649千円 (網代小学校に新たに開設)
- 文化**
  - 起雲閣ローマ風呂室改修 6,047千円
  - 温泉誌編さん 5,628千円 \*市制80周年を目指し3か年で作成
- 安全・安心の確保**
  - 高機能指令システムネットワーク料 4,696千円 \*迅速で的確な出動
  - 消防ポンプ車(8分団)15,392千円 消防団編上靴1,429千円

## 行政改革

政策の成果や市民満足度等を重視した「質の行政改革」に重点。行政経営指針に基づく行政運営の改善。

- 総合計画**
  - 後期計画(H28~)の策定に向けた準備を開始
- 事務事業見直し**
  - 民間による新たな湯~遊~バス → 年間2,700万円程度の削減効果
- 市税の収納率の向上** \*差押強化、適切な債権管理、等  
H18決78.8% → H24決85.2% → H25決見87.6% → H26予88.3%
- 職員・組織**
  - 給与費の適正化、職員採用・育成の充実
  - 公益財団法人熱海市振興公社のあり方についての検討の継続

## 公営企業

- 地方公営企業会計制度の見直し**
- 水道:老朽施設の改修(H26老朽管延長149.8km、約37.2%)  
流量計設置にかかると実施計画の策定(有収率70.2%)  
県に対する水需要の提示、受水費軽減(駿豆水道関係)
  - 下水道:新たな下水道基本計画に基づく事業計画の見直し  
実質資金不足額 6億9千万円
  - 温泉:老朽施設の改修(H26老朽管延長12.6km、約21.1%)